

# みんなで作ろう！ DIY式・映像の新しい 取り扱い説明書

[ホームムービーを囲む場の実践] 連続講座 < 入門編 >



失われつつあるプライベート・フィルムの  
収集や上映を通じた、地域や世代を超えた  
さまざまな人々が集い語らう場\*1があることを  
ご存じですか？

このような活動は一般的な「映画」とは違い、まちづくりや地域振興・  
福祉・教育・アートなどの領域を横断しながら進められています。

今回の media gym 2008\*2 では、その実践を支えている「考え方」や  
「技術」の中からエッセンスを抽出し、ワークショップやディスカッション、  
レクチャーなどで構成される連続講座を開催し、映像による「場づくり」を  
担う人材の育成に取り組みます。

自分自身の身近な関心に役立つような映像の新しい使い方を、あなたも  
いっしょに考えてみませんか！

\*1 AHA(アハ)![Archive for Human Activities / 人間の営みのためのアーカイブ]  
個人によって記録された映像群を、生活文化が記録された財として捉え直し、それらをアーカイブ  
(収集・公開・保存・活用)する NPO remo(記録と表現とメディアのための組織)によるプロジェクト。  
2005 年から始動。現在は、8 ミリフィルムという媒体のアーカイブに注力し、「出張上映会」  
「公開鑑賞会」等の収集・公開の手法を用いながら展開している。

\*2 media gym 2008 とは? 「メディアに親しむ身体づくり」をテーマに、中高生から専門家までを  
対象として行うワークショップ・シリーズ。

カリキュラム詳細 (計 4 回 + α)

#01 2008 年 12 月 23 日 (火・祝) 16:00~18:00

映像・モノを囲んで「きく」、語りをつくる  
「榮屋海苔店」による 8 ミリフィルム上映会 & 海苔の試食会

#02 2009 年 1 月 18 日 (日) 18:00~20:00

地域における“つながりの場”をつくる工夫  
~出来ないことがヒントになる~

#03 2009 年 2 月 1 日 (日) 19:00~21:00

8 ミリフィルムをさわろう 映写技術講習と映像の歴史レクチャー

#04 2009 年 2 月 11 日 (水・祝) 16:00~18:00

思い出すことへの順路と帰路 ~それぞれが映像を誤読する~

+α 実践オプション ※このコースは本講座には含まれません。  
上記の 4 プログラム以外に、サポートスタッフとして、フィルム収集や  
上映に参加できます。詳細は [お問い合わせ] まで。

web <http://ahasch.exblog.jp/>

メーリングリストやブログを活用して、毎回の講座の詳細を紹介する予定です。  
参加を迷われている方はこちらで参照のうえ、ぜひ当講座へお申し込みください。

## 是非、ご参加下さい！

参加対象：経験不問。映像の知識がなくても問題なし、老若男女問わず。  
予約方法：< 氏名 (ふりがな)・住所・連絡先 (電話番号・PC アドレス) > を  
明記の上、下記連絡先まで事前にお申し込みください。

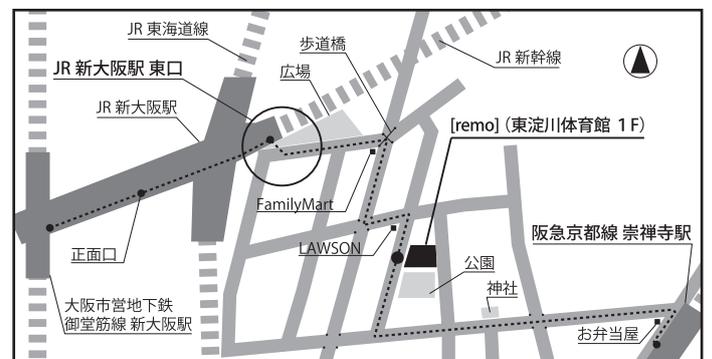
参加料：通しチケット 4000 円 (全 4 回) ※ 各回の参加は、1 回につき 1500 円  
定員：15 名 定員になり次第、締め切ります。

\* 原則として一連の連続講座としての受講が望ましいですが、各回ずつの参加も可能です。

## お申し込み / 問い合わせ先：

remo [NPO 法人 記録と表現とメディアのための組織]  
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 4-4-1F URL : [www.remo.or.jp](http://www.remo.or.jp)  
tel & fax : 06-6320-6443 e-mail : [info@remo.or.jp](mailto:info@remo.or.jp)

会場：[remo] (東淀川体育館 1F)



JR [新大阪] 東口徒歩 5 分 / 地下鉄御堂筋線 [新大阪] 徒歩 10 分 / 阪急京都線 [崇禅寺] 徒歩 10 分

押し入れに眠っている 8 ミリフィルムを探しています。

押し入れに眠っているフィルム、最後に観たのはいつですか？

ご自宅にフィルムや映写機をお持ちの方は NO.3 の講座にご参加されることをお勧めいたします。

\* 詳細は [お問い合わせ] までお気軽にご相談ください。

# #01

2008年12月23日(火・祝)  
16:00～18:00

## 映像・モノを囲んで「きく」、語りをつくる 「榮屋海苔店」による8ミリフィルム上映会&海苔の試食会

創業50余年、大阪阿倍野で海苔店を営む神戸榮一郎さんとご家族をお招きして、8ミリフィルム上映会と手作り海苔の試食会を開き、海苔の食文化やご家族のお話をうかがっていきます。

また後半では、国内外でのインタビュー経験をもつ文化人類学者の西川麦子さんを交え、映像やモノを介した語りの場について考えます。映像を囲んで海苔を食べながら、豊かな語りが見つられる場をゲストとともに体験し、共有していく講座です。

### ゲストプロフィール

#### 神戸 榮一郎 (榮屋海苔店店主) とご家族

手づくり海苔 榮屋海苔店店主、1922年生まれ。うまい海苔をたくさんの人に食べてもらうことを思い1948年に起業。最近ではデザイナーズなどに出張し、ハーモニカの音色を届けることも行っている。

#### 西川 麦子 (甲南大学文学部教授)

甲南大学文学部教授、専門は文化人類学。石川県能登・パングラディッシュの農村・ロンドンなどの地域でフィールドワークを行ってきた。著書に『ある近代産婆の物語 能登・竹島みいの語りより』(1997年)など。

ホスト：八木 寛之 (大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程)

# #02

2009年1月18日(日)  
18:00～20:00

## 地域における“つながりの場”をつくる工夫 ～出来ないことがヒントになる～

老若男女さまざまな人が暮らしている地域の中で、世代を超えたコミュニケーションを生む“つながりの場”。この場づくりが目指すゴールとは一体どこなのでしょうか？

今回、石川県白山市で世代間コミュニケーションを独自の視点で研究されている山崎竜二さんの活動事例をもとに、地域におけるコミュニケーションの可能性・その難しさを見つめます。そして、みなさんと一緒にそれぞれの現場のもつ問題や課題から“つながりの場”をつくるヒントを考えていきます。

### ゲストプロフィール

#### 山崎 竜二 (北陸先端科学技術大学院大学博士後期課程)

北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST) 知識科学研究科博士後期課程在学。認知症ケアに関して、立場の異なる人々のコミュニケーション・デザインのあり方を探る。思い出の創作劇により、異世代や異文化のつながりを創る。

ホスト：蛇谷 りえ (デザイナー/アーティスト)

# #03

2009年2月1日(日)  
19:00～21:00

## 8ミリフィルムをさわろう 映写技術講習と映像の歴史レクチャー

映像は人々の営みを映し出すツールとして、時代と共にかたちを変え、わたしたちの生活の傍で息づいています。移り行く時代の1コマ1コマを、映像を通じて見つめ続けてきた、プラネット映画資料図書館代表・安井喜雄さんを迎え、実際に映写機に触れながら映像史や社会背景との関連性を学びます。

初心者にもわかりやすく、マニアにもウレシイ映写技術習得講座。

さぁ！さわって、知って8ミリフィルムを映してみましょう。

### ゲストプロフィール

#### 安井 喜雄 (プラネット映画資料図書館代表、神戸映画資料館館長)

プラネット映画資料図書館代表、神戸映画資料館館長。1974年にプラネット映画資料図書館を創設し、関西の自主上映運動の草分けとして活躍。映画文献などの資料やフィルムの収集家としても著名。

ホスト：斉藤あずさ (アーティスト)

# #04

2009年2月11日(水・祝)  
16:00～18:00

## 思い出すことへの順路と帰路 ～それぞれが映像を誤読する～

他人の運動会のホームムービーを見て、自分の子どものころを思い出したとしたら、その時なにが起きてるのだろうか。ゲストと共に、さまざまな種類の映像の断片を、その場で選びながら上映していきます。最後に、わたしたちがアーカイブしている、ホームムービーを映します。

それらを見ることで、思い出されるエピソードを、話せばと思います。

交わされる言葉たちは、どこから来て、だれに帰っていくのか…

### ゲストプロフィール

#### ほんま なおき+久保田 テツ (カフェ・イマージュ)

ほんまなおき (本間直樹) : コミュニケーション論を軸に、哲学対話の方法論、こどもの哲学、身体論、映像コミュニケーションの研究と実践に取り組む。2006年より大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD) および大学院文学研究科准教授。Café Philo 代表。

久保田テツ : 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD) 特任講師。専門はメディアデザイン。文化系シンクタンク勤務の後、2000年より早稲田大学非常勤講師、2005年よりCSCDに従事。映像、音楽作家としても活動中。NPOremo、NPO recip メンバー。

#### 前田 真二郎 (映像作家)

情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 准教授。90年代初頭からビデオメディアによる映像作品を発表。2005年より撮影行為とアートを結び DVD レーベル "SOL CHORD" を監修する。

ホスト：宮本 博史 (アーティスト)